

小児がん拠点病院事業
小児がん相談室 WG
主催

AYA 世代がん患者の現状と 課題を学ぼう



第 3 回

「AYA 世代についての妊孕性について考える

～妊孕性について話す前に医療者が考えておくべきこと～

日時 令和 2 年 3 月 13 日 (金) 17 : 45 ~

場所 L 棟 3 階 大会議室

講師 臨床心理士 嶋田一樹・東海林佐知子
がん化学療法看護認定看護師 加藤由香

AYA (Adolescent and Young Adult: 思春期～若年成人) 世代のがん患者のトータルサポートは、小児がん領域でも必須です。

今回は、AYA 世代がん患者について考える学習会の第 3 弾として、がん治療に伴い、妊孕機能温存について意思決定を支援する医療者が考えておくべきことについて、心理士の立場から考える課題や現状について、小児がん相談業務に従事する認定看護師の経験を交えながらお話しします。

「何をどうサポートすればいいのかわからない」「妊孕性について、どんなふうに意思決定を支援したらいいの?」「そもそもどんな知識が必要?」など、皆が抱える初歩的な、そして大切な問題について一緒に考えてみませんか?